

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【算 数】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点1） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|-----------------|--|
| 2 東京書籍 | <p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「ほじゅうのもんだい」や「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、習熟に時間を要する内容や繰り返し学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱うような単元の構成・配列の工夫がされている。</p> |
| 4 大日本図書 | <p>(1) 算数科の目標を達成するために、豊富な適用問題、習熟度に応じた単元末の「たしかめ問題」や巻末補充問題で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、児童が苦手としやすい単元を従来よりも後ろに配列したり、早い時期に配列して他教科で活用できるようにしたりするなど構成・配列の工夫がされている。</p> |
| 11 学校図書 | <p>(1) 算数科の目標を達成するために、各単元の終わりに設定された「できるようになったこと」「まなびをいかそう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、割合など児童のつまずきやすい単元を2つに分け、もう一度学び直す機会を設定するなど構成・配列の工夫がされている。</p> |
| 17 教育出版 | <p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「ステップアップ算数」や「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、既習事項を活用して学習内容の習熟を図ることができるように、関連性のある単元を連続して学習できる構成・配列の工夫がされている。</p> |
| 61 新興出版社 啓林館 | <p>(1) 算数科の目標を達成するために、「じゅんび」「もっと練習」「わくわく算数ひろば」で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、「小数のかけ算・わり算」「割合」「割合のグラフ」のように、類似内容が複数の単元に分けられ、段階的に児童の理解を深めることができる構成・配列の工夫がされている。</p> |
| 116 日本文教 出版 | <p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「たしかめポイント」「算数マイトライ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、基本的な内容が多い低学年は関連のある単元を分散的に構成し、領域間で関連が深くなる高学年は関連する単元をまとめた構成・配列の工夫がされている。</p> |

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|---------|---|
| 2 東京書籍 | <p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、話合いを促す問いかけや、学習内容を振り返る活動を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 学習内容の理解が確認できる「たしかめよう」を単元末に設定し、自己評価や復習ができるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、問題解決の流れに即した思考や表現の過程が書かれたノート例を掲載するなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> |
| 4 大日本図書 | <p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、多様な解決方法を言葉や図・式を使って学び合う時間を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末補充問題「プラス・ワン」に全単元の内容を設定し、繰り返し練習ができるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、1年時からノートの書き方例を段階的に掲載し徐々に表現力も向上させるなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> |
| 11 学校図書 | <p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、特に重要だと考えられる9つの見方・考え方をそれぞれのモンスターで表現するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 児童の思考に沿ったマークを掲載し、「確かめたいな」では、学習内容を確認できるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、考えや疑問を書くことで学習を深めることを目的とした「考えるノート」を掲載するなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| 17 教育出版 | <p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「はてな」「なるほど」「だったら」と児童の思考がつながる数学的活動を取り扱うなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に学びのマップを掲載し、分からない箇所があれば自ら振り返って確認できるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、友達の本のよさを見付けることにより学級全体で表現力を高め合うようにするなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> |
| 61 新興出版社 啓林館 | <p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、めあてをほぼすべての時間に例示し、児童の主体的な考えや気づき（学びのめばえ）として強調して取り扱うなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に「もっと練習」を設定し、易→難の2段階の問題により、習熟度別学習にも対応できるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、教科書に示されている問題解決的な学習の流れに沿ったノート例を掲載するなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> |
| 116 日本文教 出版 | <p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、多様な見方・考え方・解決方法の手がかりを示し、問題解決の見通しが立てられるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に算数マイトライを設定し、3ステップで学習状況を確認したり、広げたり、深めたりできるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、考えた過程を図や式・ことばで表すとともに、友達の考えも書き示したノート例を掲載するなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> |

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|-----------------|---|
| 2 東京書籍 | (1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の一単位時間の終わりには「学習の振り返り」として児童の言葉を例示することで、学びに向かい続けようとする態度を育むことができるように配慮されている。 |
| 4 大日本図書 | (1) 児童にとって分かりやすくするために、全学年において教科書を学年1冊にするとともに、単元名のインデックスを領域別カラーで表示することで、年間を通じて振り返りや学び直しがしやすくなるように配慮されている。 |
| 11 学校図書 | (1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の各単元の導入は、日常生活など身近な場面をストーリー性のあるイラスト形式で提示し、児童が自ら問題を見つけられるように配慮されている。 |
| 17 教育出版 | (1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の各単元のまとめとして4コマ漫画や穴埋めでまとめる場を設定し、児童が学んだことのよさや考え方を意欲的に振り返ることができるように配慮されている。 |
| 61 新興出版社 啓林館 | (1) 児童にとって分かりやすくするために、全学年において単元のポイントとなる各所にQRコードを掲載し、学習の参考になる動画や補充問題等のコンテンツを授業や家庭学習で活用することができるように配慮されている。 |
| 116 日本文教 出版 | (1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の巻末に問題解決の過程を示した「学び方ガイド」のシートをつけ、児童がどのような内容の学習でもシートを参照しながら、見通しをもって問題を解決できるように配慮されている。 |

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|-----------------|--|
| 2 東京書籍 | (1) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、学習のまとめを数学的な見方・考え方を明確にした形で提示することで、授業者が、本時において、児童にどのような見方・考え方を使って論理的に解決させていくか、授業展開を構想できるような工夫が見られる。 |
| 4 大日本図書 | (1) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、各単元の主要な時間をピックアップして「じっくり深く学び合おう!」と位置付け、解決方法を言葉で説明したり、図や式に結びつけて筋道を立てて解かせたりするような表現力を身に付けさせる工夫が見られる。 |
| 11 学校図書 | (1) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、本時学習において児童に期待する思考の流れをマークで明示することで、授業者が、本時において、児童にどのような見方・考え方を使って論理的に解決させていくか、授業展開を構想できるような工夫が見られる。 |
| 17 教育出版 | (1) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、単元末において算数を使って日常の問題を解決する活動に取り組む「学んだことを使おう」の時間を設定し、必要な情報だけを取り出して解かせたり、根拠を明確にして解かせたりするような力を身に付けさせる工夫が見られる。 |
| 61 新興出版社 啓林館 | (1) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、めあてをすべての時間に例示し、めあてにつながる児童の主体的な考えや気づき（見通し・課題発見）を「学びのめばえ」マークで強調することで、筋道を立てて解かせるような工夫が見られる。 |
| 116 日本文教 出版 | (1) 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、算数で使いたい数学的な見方・考え方を例示したり、これらの見方・考え方を働かせながら学習を進めていくための手がかりを「カギマーク」で示したりすることで、筋道を立てて解かせるような工夫が見られる。 |

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点5) 一単位時間における指導内容が明確化され、基礎的・基本的な内容の定着を図るために、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|-----------------|---|
| 2 東京書籍 | <p>(1) 一単位時間における指導内容を明確化するために、マークで毎時の展開が分かり、「大切な見方や考え方」や「まとめ」のマークから授業展開を描くことができるなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、練習問題だけでなく、巻末の「新しい算数プラス」に、練習問題とリンクした難易度別の補充問題を設定するなどの工夫がされている。</p> |
| 4 大日本図書 | <p>(1) 一単位時間における指導内容を明確化するために、毎時のめあてと、正対するまとめを2学年以上の全時間に設定し、イラストを入れ、教科書を見ただけで授業の流れがよく分かる工夫がされている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、毎時の適用問題や巻末の補充問題「プラス・ワン」で十分な問題量を確保し、さらに補充問題をWEBに掲載する工夫がされている。</p> |
| 11 学校図書 | <p>(1) 一単位時間における指導内容を明確化するために、子どもの思考に沿ったマークとマークの横に小タイトルを入れ、めあてと対応したまとめを掲載し、標準的な展開の流れが分かる工夫がされている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、教科書を3つの部分で構成し、「本単元」で基礎・基本を身に付け、巻末の「ほじゅう問題」で定着を図る工夫がされている。</p> |
| 17 教育出版 | <p>(1) 一単位時間における指導内容を明確化するために、ほぼすべての単元において、問題発見・解決の過程をフキダシで示し、子どもの問いの連続で授業展開ができるように工夫されている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、各学力調査を分析し、典型的な間違いが起こりやすい問題を取り上げ、子どもたちにつまずきのポイントを意識させる工夫がされている。</p> |
| 61 新興出版社 啓林館 | <p>(1) 一単位時間における指導内容を明確化するために、「めあて」を例示するだけでなく、「めあて」につながる気づきを「学びのめばえ」として示すことで、学習の目的が捉えやすい工夫がされている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、巻末の「もっと練習」では、基本問題と応用問題の2段階の問題が設定され、習熟度別学習に対応できるように工夫されている。</p> |

| | |
|----------------|--|
| 116 日本文教 出版 | <p>(1) 一単位時間における指導内容を明確化するために、各単元のはじめに、子どもたちが「やってみたい」「もっと知りたい」と思うような、興味や好奇心に働きかける題材の工夫がされている。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、単元に入る前には既習事項を、単元の終わりには、確かめのページを設け、学習したことを繰り返し確認できる工夫がされている。</p> |
|----------------|--|